

平成 22 年度第 1 回共同実験実施計画書

(社) 愛知県環境測定分析協会
 (社) 日本環境測定分析協会・中部支部
 共同実験事務局

1. はじめに

平成 22 年度第 1 回共同実験を例年通り実施いたします。先般ご案内しましたところ、多数の参加をいただき、精度管理に対する関心の高さを感じております。

共同実験事務局としましては、各社の精度管理向上のお役に立てるよう、共同実験の内容を充実させていきたいと考えております。

なお、実験結果につきましては、「四分位数法による z スコア」で解析し、各社にご報告いたします。共同実験結果検討会では、ディスカッション（他社との意見交換）を行う予定です。

今後の精度管理に役立つものと期待しております。

2. 共同実験の内容

1) 実施項目

模擬排水中の全窒素、全りん分析

2) 分析項目及び濃度範囲

試料名	項目	濃度範囲 (mg/L)	配付試料量
①	全窒素	1 ~ 100	ポリ瓶約 500mL
	全りん	0.1 ~ 10	
②	全窒素	0.1 ~ 10	ポリ瓶約 500mL
	全りん	0.01 ~ 1	

3) 試料の取扱い

分析は試料到着後速やかに実施してください。試料を保存する場合は、冷暗所に保存してください。なお、分析実施にあたっては、試料を冷暗所から取り出し、室温に戻してから分析操作を開始して下さい。

4) 測定回数

各事業所の判断で実施して下さい。各項目とも 2 回以上測定を行った場合、それらの平均値を最終データとして報告して下さい。

5) 分析方法

全窒素	JIS K 0102 (2008)	45.1	総和法
		45.2	紫外吸光光度法
		45.3	硫酸ヒドラジニウム還元法
		45.4	銅・カドミウムカラム還元法
		45.5	熱分解法
全りん	JIS K 0102 (2008)	46.3.1	ペルオキシ二硫酸カリウム分解法
		46.3.2	硝酸-過塩素酸分解法
		46.3.3	硝酸-硫酸分解法

* 他の分析方法での報告も可能です。

3. 報告書について

1) 報告用紙

同封した「共同実験結果報告書」を使用して下さい。共同実験事務局としては、同一報告書用紙を使用して頂くことにより、集計業務をより能率的におこない、結果をできるだけ早く参加者の皆様にお届けしたいと思っております。

結果報告は、FAX、郵送、電子メールのいずれかの方法で、提出して下さい。

なお、共同実験実施計画書および報告書は、(社) 愛知県環境測定分析協会ホームページからダウンロード可能です。

2) 数値の取扱い方

報告値は有効数字3桁とし、その下位の桁での数値の丸め方は「JIS Z 8401 数値の丸め方A法」に従ってください。なお、単位はmg/Lで表記して下さい。

例：7.77、0.777、0.0777、0.00777

3) 報告値について

配付試料中の濃度を報告して下さい。

4. 実験データの取扱いについて

例年同様、各社からのデータは非公開とし、共同実験事務局にて社名等を除いて集計いたします。参加事業所名は、最終報告書に一覧で記載します。なお、事務局より実験担当者宛に問い合わせをすることがありますので、バックデータ等は必ず各社で控えておいて下さい。

5. 環境計量士の署名捺印について

共同実験結果報告書には、「環境計量士」の署名をいただきたいと思えます。

その趣旨は、分析精度の向上及びデータの信頼性の確保を「環境計量士」の立場からご検討いただくためです。

6. 報告書の提出期限

平成22年8月13日（金）必着

7. 報告書の提出先

〒460-0022

名古屋市中区1-2-4 アイディエリア 405号

(社) 愛知県環境測定分析協会事務局内 共同実験事務局 宛

TEL/FAX (052) 321-3803 E-mail aikankyo@nifty.com

8. 本件の問い合わせ先

西中村 敏夫 TEL：052-612-9801 株式会社 エステム 環境調査センター (サンプル担当)

夏目 訓良 TEL：0533-75-2250 株式会社 東海分析化学研究所